読図 解答とワンポイント解説

地図帳のページ	問いの番号	Q 問題	A 解答	ワンポイント解説
49-50	☑15	バカンス地として有名なフランス南部のマルセイユとほぼ同じ緯度にある日本の都道府県庁所在地を答えよう。	札幌市	寒流の影響が大きい北海道に対して、暖流と偏西風の影響が大きいヨーロッパは温暖であることを確認する。
51-52	☑16	②C図を見て、1949年時点には示されているが現在の地図にはない国を確認しよう。	ユーゴスラビア、ソビエト連邦、東ドイツ、西ドイツ、チェコスロバキア	第二次世界大戦後、安定して国境の変化がないように思えるヨーロッパだが、ユーゴスラビアやソビエト連邦の解体、東西ドイツ統一など第二次世界大戦後でも変化がある。
53-54	☑17	複数の国を通る国際河川であるライン川をたどり、通過する国を確認しよう。	オランダ、ドイツ、フランス、スイス、オーストリア、リヒテンシュタイン	ブルーバナナと呼ばれるヨーロッパのメガロポリスを通るライン川流域を確認することで、ヨーロッパの経済の中心を捉える。
55-56	☑18	ロンドン、パリを通過する河川と都市の標高を読み取ろう。	ロンドン…テムズ川、標高24m　パリ…セーヌ川、標高89m	平均標高が低いヨーロッパの特徴を読み取る。また河川勾配が緩やかなヨーロッパでは舟運とともに都市が発達したことを確認する。
59-60	☑19	ウクライナのオデーサから北アフリカに到達する海の航路を確認しよう。	黒海→ボスポラス海峡→マルマラ海→ダーダネルス海峡→エーゲ海→地中海	ウクライナ侵攻の前まではウクライナからアフリカへ多くの小麦が輸出されていた。その航路を確認するとともに、ボスポラス海峡などの海上交通の要衝を確認する。
61-62	☑20	p.4の「地図帳の凡例　世界」の領土記号も参考にして、アフリカ大陸にあるスペインの都市を探そう。	セウタ、メリリャ	ジブラルタル海峡の北側の都市ジブラルタルはイギリス領土で南側の都市のセウタやメリリャはスペインの都市である。ジブラルタル海峡が戦略的に重要な位置を占めていることを確認する。
63-64	☑21	イタリアの人口10万以上の都市の数は、ローマの北側と南側のどちらに多いだろうか。	北部の方が多い。	イタリアの北部ではミラノ、トリノ、ジェノヴァといった鉄の三角地帯に加え、伝統工業の発達した第３のイタリアがあり、都市が発展している。一方、南部は農村部が多い。イタリアの南北問題を確認する。
65-66	☑22	イギリスの北部やスカンディナヴィア半島西岸、アイスランドに広がる海岸地形の特徴を読み取ろう。	フィヨルド	大陸氷河は減少しているものの、ヨーロッパの北部では氷河の侵食により形成されたU字谷、フィヨルド、氷河湖が多く存在することを確認する。
67-68	☑23	ロシアから伸びるパイプラインを確認しよう。	省略	原油・天然ガスのパイプライン（ドルジバパイプラインやノルドストリーム）は、エネルギー資源の多いロシアから少ないヨーロッパへの重要なルートである。ウクライナ侵攻以後も輸出・輸入をめぐる争点となっている。
69-70	☑24	低緯度まで流氷が見られるのは、ユーラシア大陸の東岸と西岸ではどちらだろうか。	東岸	中緯度から高緯度にかけて暖流の発達する大陸西岸では、ロシアのムルマンスクまで不凍港が広がる。一方で、寒流の発達する大陸東岸では北緯45度付近の北海道でも流氷が見られることを確認する。
71-72	☑25	大西洋から太平洋に抜けるマゼランの航路とパナマ運河を通る航路を比較しよう。	マゼランの航路は南米の南を通っていたが、現在はパナマ運河を通過し、大幅に航海日数を削ることができた。	非常に重要な航路となるパナマ運河では、運河を通過できる船舶のサイズが重要であり、そのサイズをパナマックスという。2016年により大きな船舶を通過することができる新ルートが造られた。
73-74	☑26	日本と他国の国境と、カナダ・アメリカ合衆国・メキシコ間の国境の特徴を比較しよう。	日本は海。カナダ・アメリカ合衆国・メキシコ間は経緯線や河川。	アメリカ・カナダ・メキシコ間の国境は陸続きであり、海が国境である日本と比べて隔絶性が小さい地域であることを理解する。工業や貿易、不法移民問題などの理解に繋げることができる。
77-78	☑27	ニューヨーク・ロサンゼルス間の直線距離を計測し、東京・大阪間の直線距離（約400km）と比較しよう。	約4000km。東京・大阪間を直線距離で往復した場合、５往復以上の距離となる。	アメリカ合衆国の規模感を日本との比較を通して相対的に認識し、多様な自然環境を土台とした適地適作や大規模な農業経営、多様な民族分布、国内の交通の特徴などの理解に繋げる。

読図 解答とワンポイント解説

地図帳のページ	問いの番号	問題	解答	ワンポイント解説
79-80	☑28	アイオワ州やイリノイ州で穫れた穀物をメキシコ湾まで船で運ぶ方法を考えよう。	ミシシッピ川の内陸水運	アメリカ合衆国東部の地形が安定地域であることを理解する。また、その地形の特徴が産業とも結びついていることを、コーンベルトの農業の特徴と関連付けながら理解する。
81-82	☑29	アメリカ合衆国西部で、富士山（3776m）よりも高い山を10個探してみよう。	グラニット山、グラントティートン山、フランクス山、キングス山、ガネット山、ハンフリーズ山、レーニア山、シャスタ山、ホイットニー山など	日本の規模感と比較しながら、アメリカ合衆国西部には急峻な地形が比較的多いことを理解する。
83-84	☑30	太平洋とカリブ海、両方の海に面する国を探してみよう。	メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、コロンビア	太平洋とカリブ海、両方の海に面する国は、太平洋と大西洋、北米と南米を結びアメリカ市場への地理的近接性が大きいことや、パナマ運河の経済的な重要性などを理解する。
87-88	☑31	富士山より標高の高い首都がある国を探そう。	ボリビア	南アメリカの地形の特徴と、人々の生活文化との関わりを大観して理解するために、変動帯に位置するアンデス山脈中の高山都市の存在を確認する。
89-90	☑32	p.90アの写真が撮影されたブラジルのパラ州を見て、熱帯林に囲まれた道路沿いの畑作地を探そう。	トランスアマゾニアンハイウェイなどに沿って熱帯林に囲まれた畑作地が分布している。	写真の変化と地図情報の関連付けを通して、アマゾンで熱帯林の破壊が進行していることを理解する。
91-92	☑33	太平洋を取り巻くAPECの21の参加国・地域のうち、アジア州以外の参加国・地域を五つ以上答えよう。	オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、ペルー、チリなど	APEC参加21か国と地域は、世界人口の約4割、貿易量の約５割、GDPの約６割を占め、日本にとっても重要な地域であることを確認する。
95-96	☑34	オーストラリアとニュージーランドでそれぞれ一番標高の高い山を探そう。	オーストラリア…コジアスコ山（2228m） ニュージーランド…アオラキ（クック）山（3724m）	安定陸塊や古期造山帯を中心になだらかな地形が広がるオーストラリアと、新期造山帯で険しい地形がみられるニュージーランドを比較することで、両国の地形の違いを理解させたい。